

## 会員総会報告

事務局

第 14 回 JAMS 研究大会の 1 日目に会員総会が行われた。報告・審議の内容は以下の通り。

### 0. 議長選出

金子芳樹会員が議長に選出された。

### 1. 2004 年度事業報告および会計報告に関する件

各運営委員より、昨年度の会員総会でいった中間報告より以降の状況を中心に 2004 年度の活動内容が以下のように報告され、それぞれ承認された。

#### (1) 総務委員

中間報告以降について報告事項なし。

#### (2) 会員情報委員

会員情報の管理およびメーリングリストの管理を行った。

#### (3) 会報委員

会報『JAMS News』を 3 号発行した。

#### (4) 関東地区委員

隔週の読書会および月例の研究会を行った。また、関東地区読書会の参加者によるマレー語講読会も行われている。詳細は会報の関東地区のページに掲載した。

#### (5) 関西地区委員

年間 1 回の地区例会を行った。

#### (6) 会計委員

会計委員より資料 1 に基づいて会計報告が行われた。続いて監査委員による会計監査結果の

報告が会計委員によって代読された。

### 2. 2005 年度事業に関する件 (2005 年度事業中間報告および見通し、2005 年度会計中間報告および見通し)

各運営委員より、2005 年度の事業中間報告、およびそれを踏まえた 2005 年度の事業見通しに関する報告が以下のように行われ、審議の結果、いずれも承認された。

#### (1) 総務担当

会長選挙に関し、昨年度の会員総会での了承に基づき、選挙管理委員に國谷徹会員を指名した。

研究大会に関し、昨年度の会員総会での了承に基づき、大会委員に鈴木陽一会員を指名し、研究大会の日程を 12 月 17、18 日とし、会場を上智大学とした。

地区活動に関し、田村慶子会員より、2005 年 7 月に九州地区で研究会を開催するにあたって当該の研究会がマレーシア関係の報告を含むことから「JAMS 九州地区研究会」として実施したいとの申し出があり、運営委員会で検討した結果、当該の研究会を「JAMS 九州地区研究会」とすることを承認した。

来年度の活動計画および予算案については、次期運営委員候補者が本会員総会に来年度の活動計画および予算案を議案として提出するとの連絡を受け、今期の運営委員からはいずれについても提出しないこととした。

昨年度の会員総会で、運営委員会が規約の見直しを行い、必要であれば規約の改正を發議する可能性について提案し、了承を得ていたが、今期の運営委員会としては規約の改正案を提出しないこととした。

2006年3月末をもって運営委員が交代することに伴い、国立民族学博物館に現在設置されている事務局は今限りとなり、したがって事務局共通メールアドレスも今限りとなる。

#### (2) 会員情報担当

2005年12月15日の時点で会員数は188名であり、連絡先不明者が3名いる。メーリングリストには92個のアドレスが登録されており、今年度はこれまでに28回のメッセージ發信があった。

#### (3) 会報担当

今年度は、これまでに会報『JAMS News』の第32号および第33号を發行した。第32号と第33号では、篠崎香織会員の持ち込み企画である「マレーシア留学・現地調査案内」を2号にわたって特集とした。

2006年度末までに会報の第34号を發行するべく準備を進めており、これによって今年度は年3回の發行となる見込みである。

#### (4) 関東地区委員

今年度は研究会を3回、読書会を6回行った。引き続き研究会および読書会を行う予定である。

#### (5) 関西地区委員

今年度は地区例会を1回行った。3月末までにもう1回行うための準備を進めている。

#### (6) 会計担当

2005年度会計中間報告(2005年12月3日現在)および年度末の収支見通しが表2に基づいて報告された。

#### 3. 2006-2007年度会長選挙結果報告および会長選任に関する件

2005年度JAMS選挙管理委員の國谷徹会員より、2005年8月に行われた会長選挙の結果が次のように報告された。「所定の期間内に届出のあった会長候補者は原不二夫会員1名のみであった。規定により投票は行わず、原会員が会長予定者とされた。」

この報告を受けて、会員総会で原会員を2006-2007年度のJAMS会長とすることが承認された。原不二夫会長の任期は2006年4月1日より2008年3月31日までの2年間となる。

#### 4. 2006-2007年度運営委員の選任に関する件

原不二夫会長予定者より、来年度の運営委員の候補者について以下のように報告され、承認された。

- ・総務委員 鈴木陽一、金子芳樹、左右田直規
- ・会報編集委員 信田敏宏、左右田直規
- ・会計委員 菅原由美
- ・会員情報委員 鈴木陽一
- ・関東地区委員 弘末雅士、鳥居高
- ・関西地区委員 杉本均、信田敏宏
- ・会計監査委員 永田淳嗣

また、規定に基づき、運営委員会の互選によって鈴木陽一会員が運営委員長に選任されたことが報告された。

以上の報告に対し、2006-07年度運営委員会を上記の通りとすることが承認された。新運営委員の任期は2006年4月1日より2008年3月31日までの2年間となる。

#### 5. 2006年度事業計画および予算案に関する件

2006-07年度運営委員予定者より、それぞれ以下のように2006年度の事業計画および予算案が説明された。

##### (1)総務委員予定者

研究大会の開催時期、開催地、大会委員、開催校については今年度と同様に考える。すなわち、第15回研究大会は2006年の秋から冬にかけて土曜・日曜の2日間、大都市圏、特に関東地区で開催したい。その際に、1日目に会員総会が研究大会と同じ会場で開催される見込みとなる。

大会委員を指名する予定であるが、今年度の方式を踏襲して、任命は2006年4月以降に運営委員会が指名することとしたい。会場の決定も同様としたい。

規約の見直しについては、今期の運営委員会に引き続き、さらに1年間かけて検討したい。その過程で規約の解釈に疑義が出た場合には、制定の経緯や先例などを調べた上で、適切と思われる解釈を会報で示すことにする。

##### (2)会計委員予定者

2006年度の予算案は、基本的に2005年度の予算案と大きな違いはない。ただし、会費収入は会員総数ではなく会員の権利を停止されている20名を引いた数をもとに計算したため、2005

年度予算案と比べて会費収入が少なく見積もられている。また、今年度から来年度への繰越金は現時点で不明であるため、来年度予算案には含めていない。

支出は基本的に2005年度の予算案と同じくした。具体的には、会報の発行・送付を1号あたり9万円とし、3回分を計上した。

会報送付や研究大会の際のアルバイト謝金などの支出も見込まれるが、これについては繰越金等の状況を見て判断したい。

##### (3)会報委員予定者

来年度は会報を年間3号発行する。内容については目下検討中である。

##### (4)会員情報委員予定者

会員名簿については、2006年6月頃に会員名簿の改訂版を発行する予定である。会員情報に変更がある場合には会員情報委員にすみやかに届けていただきたい。

JAMSメーリングリストは来期も引き続き運営していきたい。新規加入の希望者は会員情報委員まで申し込んでいただきたい。

##### (5)関東地区委員予定者

2~3カ月に1度くらいの頻度で研究会を開催したい。会場は主に立教大学とし、報告者は各回1、2名程度で、若い研究者に博士論文を仕上げるためのアドバイスを与えたり、研究大会で報告するための下準備を行ったりする場にしたいたいと考えている。

また、中堅や大家の研究者、さらに海外から訪れた先生がたにもお話をいただけるよう積極的に働き掛ける予定である。

なお、大学院生の主導のもとで読書会やマレ一語勉強会が行われる際には会場を提供する方針である。

(6)関西地区委員予定者

2006年度には年に1、2回程度の研究会を実施する。

以上の報告に対し、会員から「予算案で会報発行に27万円を見込んでいるということは、現行の会報のスタイルを維持する、すなわち白黒で

印刷して中綴じ製本した40～50ページの会報を年3回発行するという計算になるように思うが、そのように理解してよろしいか」との確認が求められ、会報委員予定者よりその通りであると回答がなされた。これ以外に質疑はなく、それぞれ原案通り承認された。

6. その他

予定された議案以外に会員からの議案提出はなく、会員総会が閉会した。

表1 2004年度収支決算報告(単位:円)

前年度繰越金		173,946	①
2003年度以前の会費後払い分(2005.12.12時点)		37,000	②
<b>2004年度収入</b>		<b>2004年度支出</b>	
会費	292,000	通常支出	
雑収入	10,000	会報	266,925
		29号	(78,932)
		30号	(91,128)
		31号	(86,865)
		バックナンバー	(10,000)
		研究大会	39,876
		議案問合せ	(9,008)
		研究大会案内	(30,868)
		会場費	(0)
		事務諸経費	10,049
		合計	316,850
		特別支出	
		慶弔費	15,750
		合計	15,750
合計	302,000	合計	332,600
2004年度収支差額(③-④)		-30,600	
次年度繰越金(①+②+③-④)		180,346	

表 2 2005 年度収支中間報告(2005 年 12 月 14 日現在、単位:円)

前年度繰越金				180,346 ①			
2005 年度収入				2005 年度支出			
	予算	中間報告	年度末 (見込み)		予算	中間報告	年度末 (見込み)
会費	352,000	221,000	340,000	通常支出			
				会報	270,000	134,653	262,748
				32号	(90,000)	(82,748)	(82,748)
				33号	(90,000)	(51,905)	(90,000)
				34号	(90,000)		(90,000)
				研究大会	50,000	31,264	51,264
				議案問合せ		(9,000)	(9,000)
				研究大会案内		(22,264)	(22,264)
				会場費			(20,000)
				事務諸経費	10,000	0	10,000
				特別支出			
				会長選挙	35,000	15,937	15,937
合計	352,000	221,000	340,000 ②	合計	365,000	181,854	339,949 ③
2005 年度収支差額(②-③)				51			
次年度繰越金(①+②-③)				180,397			
次年度以降会費前払い分(2005.12.14 時点)				80,000			

表 3 2006 年度予算案(単位:円)

前年度繰越金				180,397			
2006 年度収入				2006 年度支出			
会費	170×2,000		340,000	通常支出			
				会報		270,000	
				研究大会		50,000	
				事務諸経費		10,000	
合計			340,000 ①	合計		330,000 ②	
2006 年度収支差額(①-②)				10,000			
次年度繰越金				190,397			

会員総会配布資料：2004-05 年度 JAMS 活動実績(2005 年 12 月 15 日現在)

		2004 年度	2005 年度*1
会員	会員数	186 名	188 名
	退会者数	2 名	1 名
	入会者数	13 名	3 名
	増減	11 名増	2 名増
	連絡先不明者数	—	3 名
	会費納入率	78.5%	58.5%
	先払い会費	—	40 人・年分
メーリングリスト	登録者数	89 名	92 名
	投稿回数	69 回	28 回
会報	発行回数	3 回	2 回
	総ページ数	152 ページ	92 ページ
関東地区	研究会開催回数	7 回	3 回
	のべ参加者数	71 名	27 名
	読書会開催回数	22 回	6 回
	のべ参加者数	176 名	58 名
関西地区	研究会開催回数	1 回	1 回
	参加者数	15 名程度	20 名程度
九州地区*2	研究会開催回数	—	1 回
	参加者数	—	10 名

\*1 2005 年 12 月 15 日までの実績に基づく。

\*2 常設ではなく、2005 年度は田村慶子会員の協力のもと同会員を幹事として実施した。